

みんながつくる夢の図書室

プロジェクト2026

丹波市立西小学校

プロジェクト概要と推進体制

目的

誰もが「明日も行きたくなる図書室」の構築。

確保された予算を最大限活用し、図書室の環境整備（一部図書購入）を実施。

目標

令和9年2月 完成・本格稼働目標

推進体制（5/28 プロジェクト会議発足）

- 教職員（管理職含む）：4名
- PTA会長、地域学校協働活動推進員、読み聞かせボランティア：各1名
- 児童代表（図書委員）：4名

決定事項

- システム化：PCを用いた蔵書管理ソフトの必須導入。
- 備品等購入：テーブル、椅子、キッズスペース、キャレルデスク（集中席）、カーテンの新調を中心に環境を刷新。

児童アンケート「夢の図書プロ2026」結果

行動・体験ニーズ

1位：靴を脱いで リラックスしたい（61.6%）

2位：友だちと話し合いながら
本を選びたい（42.4%）

3位：静かに本を読みたい（41.4%）

設備・蔵書ニーズ

圧倒的1位：クッションやソファ（73.7%）

みんなでお話ができるテーブル（28.3%）

一人で集中できる机（20.2%）

特筆すべき蔵書要望

マンガで学べる本（44人からの強い要望）

【分析結果】：単なる遊び場ではなく、「 リラックスできる空間 」と「静かな集中・学習」が両立・選択できるハイブリッド空間に対する強いニーズがデータから実証された。

取組状況と9月20日現在の進捗



蔵書登録作業中

実働開始

8月18日より本格始動。

推進力

PTAおよび地域ボランティアによる多大な協力。

現在のタスク

約6,000冊に及ぶ蔵書の整理およびPC蔵書管理ソフトへの登録作業（進行中）。

安全配慮方針

危機管理体制の徹底：
児童の安全を最優先とし、窓
際への家具配置を厳格に制
限。

本棚や椅子など、児童が安易
に登れる可能性のある備品は窓
付近に設置しないよう、動線
と安全性を両立したレイアウト
設計を実施中。

今後のロードマップとまとめ

フェーズ1（現在～秋）

備品・設備の発注および納品待ち。PC蔵書登録の継続。

フェーズ2（納品次第）

PTA・地域ボランティアの協力を得て、安全基準に基づいた家具の配置・設置作業の実行。

フェーズ3（令和9年2月）

「夢の図書室」完成・本格稼働。

プロジェクト総括

本プロジェクトは、児童が求める「わくわくする秘密基地」と「リラックスできる居場所」という理想を、データに基づき具現化するものです。同時に、厳格な安全基準（危機管理体制）とPC蔵書管理システムを導入し、地域ボランティアの方との協働により、令和9年2月の完成に向けて計画通り進行しています。